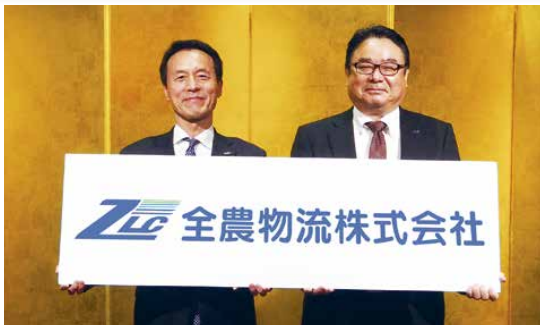


News!

全農物流とJAパールライン福島が合併へ

機能強化で生産者所得の向上と食品の安定供給に貢献

福島県本部・経営企画部



左からJAパールライン福島の佐藤勝則社長、全農物流の寺田純一社長



日本の「食」を物流で支える直営車両

全農物流(株)とJAパールライン福島(株)は4月1日に合併します。

両社は全農グループの物流会社として、全農物流は全国域で、またJAパールライン福島は福島県を主な事業エリアとして、農畜産物や肥料などの輸送や保管に関する物流事業を行ってきました。

両社は、物流業界における2024年問題への対応など、事業を取り巻く環境に大きな変化が想定されることから、合併による東北地区での事業基盤の強化を図り、県産・国産農畜産物の販売拡大と持続可能な農畜産物物流に資する物流機能の強化に取り組みます。

全農は、国産農畜産物や農業関連資材に係る物流課題への対応が、生産者の所得向上とともに、国内消費者・実需者に対する食品の安定供給にも寄与する取り組みと捉え、引き続き、グループ全体でその課題解決に向けた取り組みを進めます。

News!

JAグループ石川がTACパワーアップ大会

産地形成など先進的な取り組み事例を発表・共有化

石川県本部



JAグループ石川TACパワーアップ大会で表彰を受けたTACら

受賞者・JA

優秀TAC賞	能美農業協同組合	西田 誠也 氏
	金沢市農業協同組合	日下 詩織 氏
優秀新人TAC賞	石川かほく農業協同組合	高森 静香 氏
	金沢市農業協同組合	高田 雄介 氏
レジェントTAC賞	石川かほく農業協同組合	櫻井 和幸 氏
	石川かほく農業協同組合	松井 博暉 氏
特別表彰	金沢市農業協同組合	
	松任市農業協同組合	中田 昌孝 氏
	石川かほく農業協同組合	山本 裕介 氏

石川県本部は2月3日、ホテル金沢で「令和4年度JAグループ石川TACパワーアップ大会」を開催しました。大会は、県内における優秀TACへの表彰や全国の先進的な取り組み事例の共有化などを行い、県内のTAC活動のレベルアップとスキル向上を目的としています。

優秀TAC賞では、タマネギ産地の形成に向けて取り組んだ西田誠也氏(JA能美)、梅部会の課題探求を実施した日下詩織氏(JA金沢市)を表彰しました。優秀新人TAC賞に2人、レジェンドTAC賞に2人、4年の全国TACパワーアップ大会で表彰された1JA・2人を特別表彰としました。

して表彰し、取り組みの発表を行いました。最後に日下氏が担い手との信頼関係強化とTAC活動の実践について大会決議をしました。生産者への有益な情報提供や営農指導を通して、生産者の所得増大と農業生産の拡大へ取り組むTAC活動を今後も強化していきます。



昨年共に50周年を迎えた全農とゴディバがコラボ

国産素材を使用したチョコレート50商品達成

営業開発部・全国農協食品(株)



愛知県産蒲郡みかんジュレショコラ ホワイトチョコレート

全農は3月20日、ゴディバジャパン(株)との共同プロジェクト「GODIVA×全農 コラボレーションプロジェクト」の第16弾の5商品を全国農協食品(株)から数量限定で発売します。全国のゴディバ限定ショップ、ゴディバオンラインショップで購入できます。

本プロジェクトのフィナーレを飾る5商品は「和歌山県産清見オレンジダークチョコレート」「岩手県産江刺りんごミルクチョコレート」「愛知県産蒲郡みかんジュレショコラ ホワイトチョコレート」「東京都産東京ゴールドキウイジュレショコラ ホワイトチョコレート」「新潟県産アンジェレトマトミルクチョコレート」。各都県の魅力あふれる特産品にベルギー産のチョコレートをコーディネートしています。今回の商品を合わせて、23の商品、27のメニュー計50商品を発売し、当初の目的のアイテム数を達成しました。

同大賞は生乳の生産技術の向上や高品質な生乳生産のために努力をしている生産者を公表するとともに、大賞農家を表彰して乳質のさらなる向上に資することを目的としています。2022年度は大賞農家に22人、優秀農家に13人が選ばれました。



高品質な生乳生産を目指して

岩手県乳質改善大賞表彰式を開催

岩手県本部

表彰式出席者12人に表彰状と記念品を授与



「来年も必ずこの席に戻って来られるように頑張りたい」と意気込みました。

3年連続8回目の受賞となる菅原雅継さん(JAいわて平泉)は「1年間の目標にしている賞を受賞できてうれしい。23年度の審査もスタートしたばかりなので、気を引き締めて次の受賞も目指したい」と話しました。

初受賞となる藤森康隆さん(JA新しいわて)は「来年も必ずこの席に戻って来られるように頑張りたい」と意気込みました。

同大賞は生乳の生産技術の向上や高品質な生乳生産のために努力をしている生産者を公表するとともに、大賞農家を表彰して乳質のさらなる向上に資することを目的としています。2022年度は大賞農家に22人、優秀農家に13人が選ばれました。

岩手県本部が事務局を務める岩手県乳質改善協議会は2月28日、「令和4年度岩手県乳質改善大賞表彰式」を開催しました。



eスポーツの高校日本一を応援

第5回全国高校選手権決勝大会に協賛

広報・調査部

選手へ配った「ニッポンエール」のグミ



ム「東海中膝栗毛f.n」が優勝しました。



大会結果はこちら

11日のリーグ・オブ・レジェンド部門ではN高校のチーム「N1」が優勝し、12日のロケットリーグ部門ではN高校のチーム「ねこなま」が優勝しました。大会2日間ともに出場選手やパブリックビューイング会場の来場者らへ、全農の商品ブランド「ニッポンエール」のグミを提供し、大会を応援しました。

また、フォートナイト部門の決勝大会は1月29日にオンラインで開催され、ルネサンス大阪高校のチーム「東海中膝栗毛f.n」が優勝しました。

全農が協賛する「第5回全国高校eスポーツ選手権」が2月11、12日、LFS池袋(東京)で決勝大会を行いました。大会には全国278校延べ690チームがエントリーし、3部門に分かれて頂点を競い合いました。

モーダルシフト拡大へイチゴ試験輸送

JAさがの協力で冷蔵コンテナと振動除去技術を実証

全農と全農物流(株)はJAさがと協力し、鉄道冷蔵コンテナ(株)丸和通運(株)と輸送時の振動除去技術を組み合わせ、イチゴ輸送の実証試験を2月に行いました。

〔園芸部・経営企画部・全農物流(株)〕

り替えた場合でも市場3日目販売が可能であることを確認。また、商品品質面では、防振パレットへの積載が品質保持に一定の効果があることが確認できました。

鉄道コンテナ輸送は、遠方産地から消費地への小ロットの農産物輸送において効率的な手段です。この実証試験結果からも、冷蔵コンテナと振動除去技術の組み合わせにより鉄道輸送のさらなる可能性が感じられる結果となりました。

佐賀県の産地からイチゴ積み込み



防振パレット①とプラスチックパレット②への積み付け

青果物を産地から消費地に届ける現場では、ドライバー不足や残業時間規制厳守化(2024年問題)により「運べないリスク」が顕在化しており、解決策としてトラックから船舶や鉄道へ転換するモーダルシフトが注目されています。

今回は、これまで鉄道輸送に不向きとされていた軟皮果実のイチゴにおいて、鉄道クールコンテナを活用したモーダルシフトの実証試験に農水省の補助を受けて取り組みました。イチゴは保冷機能を有するエアサスペンション付きトラックなどによ

り輸送されていますが、試験では鉄道冷蔵コンテナと防振パレットを組み合わせ、トラックと同等の納品リードタイムと品質を目指しました。

また、複数の積載パターン

- ①防振パレットへの積載
- ②プラスチックパレットへの積載
- ③バラ積み——を行い、輸送時の振動が貨物に及ぼす影響に係る比較試験も行いました。

2月20日夕方に佐賀県を出発、21日深夜に東京都大田区に到着しました。輸送面では、産地から消費地までの幹線輸送を鉄道に切



卸売市場に到着したイチゴ「いちごさん」のケース

「よこすか野菜」ブランド化

直売所は食のテーマパークに

神奈川県のJAよこすか

葉山は、横須賀市・葉山町・逗子市を事業区域に活動しています。夏のカボチャやスイカ、メロン、国の指定産地にもなっている冬から春にかけてのキャベツやダイコンが主要作物です。また、県を代表するブランド牛「葉

山牛」の肥育も行われています。

多種多様な品目 珍しい西洋野菜も

「よこすか野菜」は横須賀市で生産される品質の高い青果物のことを指し、2016年から市と共にブランド化事業に取り組んでいます。キャベツやダイコ

ン、カボチャなどのおなじみの野菜から、カラフルで珍しい西洋野菜まで、1年を通じて多種多様な品目が栽培されており、直売所・市場より評価を得ています。

19年にはブランド化の一環として、地元高校生が「スカジャン」を基にデザインしたロゴマークを制定し、出荷用段ボールを統一。関東近郊から甲信地方の各地の市場巡回を実施し連携を強化するなど、横須賀市産青果物の知名度向上と販売力強化を図っています。

野菜肉・加工品・魚が そろった食のテーマ パーク「すかなごっそ」

JAが運営する農産物直売所「すかなごっそ」は、今

JAよこすか葉山 (神奈川県)



概要	2022年3月31日現在
正組合員数	2485人
准組合員数	17959人
職員数	228人
販売品取扱高	19億4千万円
購買品取扱高	8億4千万円
貯金残高	1730億7千万円
長期共済保有高	3794億2千万円
主な農産物	キャベツ、ダイコン、 こだわ리카ぼちゃ、よこすか水なす、 葉山牛



多種多様な品目が出荷される青果物コーナー

年でオープン12周年を迎える三浦半島で初となる大型直売所です。「地域と農をつなぐ食のテーマパーク」として管内で栽培された野菜や葉山牛、生産者手作りの加工品、併設する「すかな館」では長井漁港で水揚げされた海産物など、年間700種類以上の農畜水産物を取りそろえています。

登録出荷者は約400人、15種類以上の直売所オリジナル商品が並ぶのも特徴です。利用者からは品ぞろえの多さ、青果物の新鮮さと顔が見える安心感について評価をいただいています。21年度売り上げは10億円超であり、22年度4月には来店客数500万人を突破。また、直近では一時休

業していた精肉コーナーの営業を再開しています。同コーナーでは肉専用のバックヤードが設置されており、その場で切った新鮮な肉を販売しているため、人気のコーナーの一つです。

今後も安全安心な三浦半島産の食の恵みを提供し、地域になくはない拠点であり続けるために、出荷者や地域住民との協同・連携を目指していきます。



食のテーマパーク農産物直売所「すかなごっそ」



「スカジャン」を基にしたロゴマークと統一した段ボール箱

若い世代が考える食料安全保障

「農村派」は生産拡大や所得安定 「都市派」は消費者の動向を重視

新潟食料農業大学 准教授 青山 浩子

現地事例や識者の見解をもとに、「食料への権利と農業」には何が必要かを考えるシリーズ。最終回の第6回は新潟食料農業大学准教授の青山浩子さんが食料安全保障の課題を報告します。

学生にアンケート・分析

ウクライナ紛争や円安に端を發し、あらためて議論されるようになった食料安全保障。このテーマに若者はどう向き合っているのか。新潟食料農業大学の1科目として、農業や農村に関する基礎的な知識を学ぶ「農業・農村の暮らし」で、食料安保とは何か、なぜいま取りざたされているか——について講義を行い、終了後にその場でアン

ケートを取りました。
講義前から食料安全保障という言葉

図1 食料安全保障という言葉を知っていたか

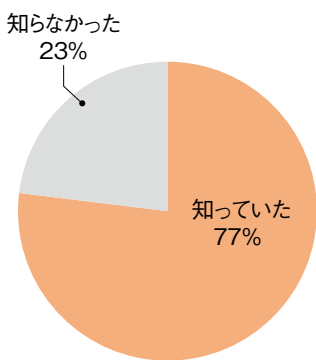
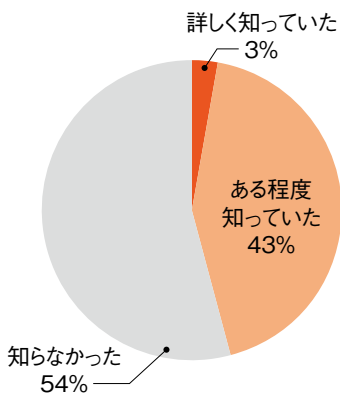


図2 食料安全保障の意味



葉を知っていたという学生は、162人のうち124人(約77%、図1)。授業やメディアで見聞きしている機会が多いためと思われる。ただ、「食料安全保障の意味を知っていたか」と尋ねると、「詳しく知っていた」「ある程度知っていた」を合計しても74人(46

%、図2)にとどまりました。

具体的にイメージしやすくするため、「食料安全保障で重視すべき項目」として、「国内生産拡大」「備蓄拡大」「輸入拡大」「(農家への)所得補償」「農業資材(高騰時の)補填(ほてん)」「生活困窮者(への食料)支援」「食品ロス削減(をはじめとする消費行動)」の7項目を示し、重視すべき2項目を選んでもらいました。

食料・農業・農村基本法では、平常時および非常時への備えを目的に、国内農業、輸入、備蓄を組み合わせる食料安保の確保をうたっています。ただ、食料安保が持つ意味は広がっています。昨今の飼料や資材などの高騰



図3 食料安保での重点項目(受講生全体・2項目選択)

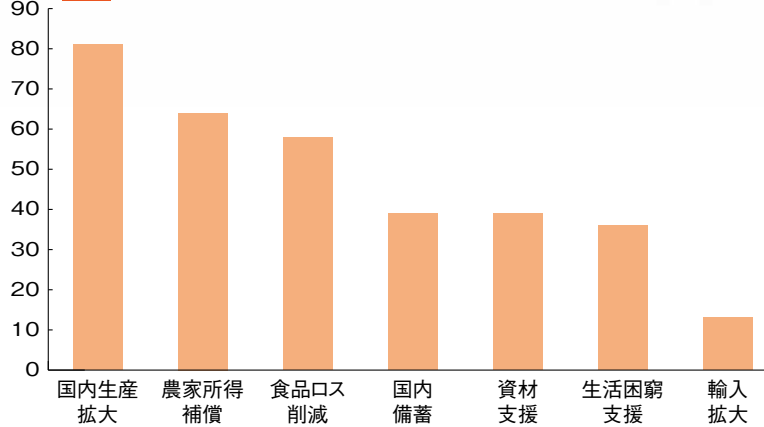
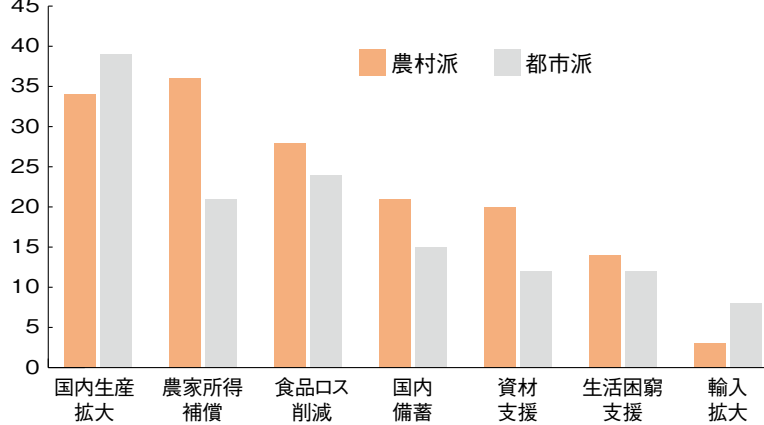


図4 食料安保での重点項目(農村派・都市派)



による農業経営の悪化は、食料安保の面からも不安材料となっています。また食品ロスを減らすなど消費行動、生活困難者への日常的な支援も食料安保と無縁ではありません。学生に幅広い観点から捉えてほしいという思いから項目を掲げました。

回答は図3の通り。「国内生産拡大」「所得補償」「食品ロス削減」の回答率が高い一方、「輸入拡大」を選択した学生が極めて少ないという結果になりました。輸入品が相次いで値上

げされ、さらには新興国で食料需要が高まっているため、輸入依存型の食料確保は現実的ではないと考える学生が多いのでしょうか。「国内生産を拡大させる必要がある、所得補償を含めた農家の経営安定がその前提となる。ただし、農業者だけに委ねるのではなく、国民全体で食料を大切に扱う習慣を身に着け、食品ロスを出さないようにしていく」――。若者なりの食料安保への考えが浮かびあがりました。

将来の農業者をいかに育てるか

学生たちの食料安保への考え方は、農村と都市のどちらを志向するかにより、異なります。同じ科目の初回の講義で「生活の場として農村と都市のどちらが好きか」という質問をしたところ、答えはほぼ半々。ちなみにこの講義では毎年同じ質問をしており、比率は3年間連続で変わりません。

「農村派」と「都市派」では、食料安保で重視する項目に違いが出ました(図4)。農村派の学生は、所得補償をもっとも重視しており、国内生産拡大、食品ロス削減が続きます。一方、都市派を選んだ学生は、国内生産拡大が最大で、次が食品ロス削減、3番目が所得補償となりました。

農村派の学生は、「自然が好き」「のんびり暮らしたい」など理由は多岐にわたりますが、「実家の農業を継ぐ」「地域活性化に関わりたい」など明確な目的を持つ学生も一定数含まれます。彼らは両親や周囲から、農業の経営面や労働面の厳しさを見聞きする機会も多いはず。それゆえ、国内生産の拡大には、所得安定が前提になると考えているかもしれません。

一方、都市派の学生は、国内農業へ

の期待とともに、食品ロス削減など消費者のふるまい方が食料安保に影響を及ぼすと考えています。学生たちの回答が日本人全体の考えを映しているとはいえませんが、こうした消費者が社会の主たる購買層になれば、日本の農業の未来は暗くないでしょう。

予期せぬ環境変化によって、食料安全保障を国全体で考える形となりました。自給率の低い麦・大豆の生産や肥料をいかに図るか、輸入に頼る飼料や肥料をどう国内で調達するかなど喫緊の課題への議論が集中しています。しかし最終的には、国内生産を担っていく将来の農業者をいかに輩出し、育てていくかが、長期的な食料安保につながっていきます。

「どうすれば農業・農村が活性化するか」という問いに対し、「スマート農業」「6次産業化」を挙げる学生が多いものの、「子どもの頃からのさまざまな食農体験」が次に続きました。食農体験と答えた学生の多くが、自らも体験がきっかけで、農業・農村への関心が高まったと記述しています。農村派、都市派を問わず、若い世代にインパクトを与える食農体験や食育。食料への不安が増している今、あらためてその意義を考えてみる必要があります。

※図1～図4は、すべて、新潟食料農業大学の必修科目「農業・農村の暮らし」の受講生を対象とした調査結果から抽出したものである。



「富山県産入善ジャンボ西瓜グミ」新発売

富山県産の品目を初めて使用したニッポンエールグミ

全農は3月17日、ニッポンエールグミシリーズとして「^{にゅうぜん}富山県産入善ジャンボ西瓜グミ」を全国農協食品㈱から発売しました。【営業開発部・富山県本部・全国農協食品㈱】

ニッポンエール果実グミシリーズとして53種類目となる「富山県産入善ジャンボ西瓜グミ」を3月17日に全国販売しました。富山県入善町特産の「入善ジャンボ西瓜」の果汁を使用したこの商品は、上品な香りと濃い甘みを楽しめます。

「入善ジャンボ西瓜」は、大きいものでは重さ30^キになるラグビーボールのような^{だえん}楕円形が特徴のスイカで、ワラで編んだ「^{こんぼう}さん俵」で梱包されています。形・大きさ・風味の特徴を維持するため自根苗を用いて栽培しており、スイカ本来のサクサクとした歯ごたえと、みずみずしくさっぱりとした上品な甘みがあります。

九州で初めてとなる石川佳純サックスツアー

博多あまおう20周年・八女茶600年記念し福岡県宗像市で

福岡県本部は2月18日、宗像市の宗像ユリックスイVENTホールで「博多あまおう販売20周年」「八女茶発祥600年」という大きな節目の年を迎えたことを記念し、石川佳純47都道府県サックスツアーを宗像市と合同で開催しました。【福岡県本部】



小学生に卓球を指導する石川選手

宗像市は全農所属 石川佳純選手の祖母の生まれ育ったゆかりの地で、石川選手が幼い頃から何度も訪れた思い出の場所です。イベントでは石川選手が小学4~6年生62人に卓球の指導を行いました。ラリーの実演やボランティアで参加した地元の中高生とのエキシビションマッチなど、参加者にとって思い出に残る貴重な経験となりました。

トークショーで石川選手は「試合では苦しい場面でも自

分を信じるのが大事。最後まで自信をもって試合に臨むためには、毎日の生活や練習の積み重ねが大切」と日頃からの準備の大切さを伝えました。また、2月23日に誕生日を迎えた石川選手へ、JAむなかたの「博多あまおう」で作ったケーキがプレゼントされました。

会場内のイベントブースで「八女茶」、県産米「元気つくし」、
「博多あまおう」のPRも行い、多くの来場者でにぎわいました。



JA紀州

JA紀州の梅干しは、「南高梅」を一粒一粒手作業で選別し、良質の果実だけを漬け込みます。この「南高梅 紀州はちみつ漬梅干し」は大粒で肉厚の「南高梅」を、うす塩味で漬け込み蜂蜜を加えて熟成させました。ただ甘いだけではなく、ほんのり感じられるシソの風味と程よい梅本来の酸味のバランスが絶妙で、上質なうまみを醸し出します。塩辛くて酸っぱい梅干しが苦手という方にお薦めです。しっかりとしたまるやかな梅干しの味わいをお楽しみください。



南高梅 紀州はちみつ漬梅干し 800g【化粧箱】
塩分約8%……3000円(税込み)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com